

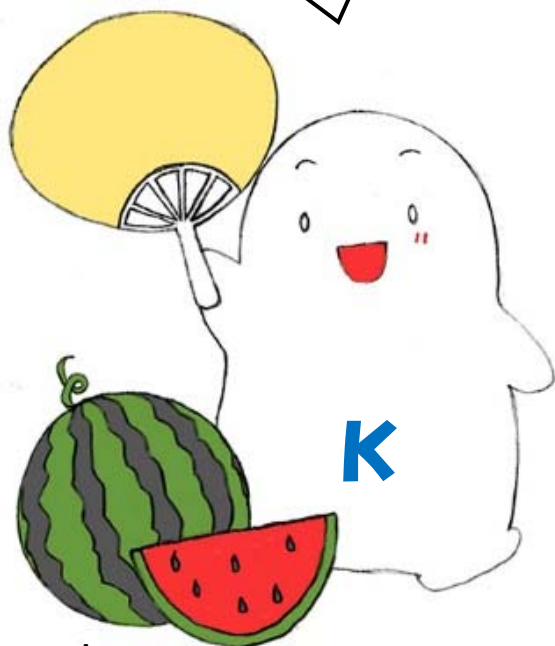
# じんじいん 人事院へようこそ！

こんにちは！

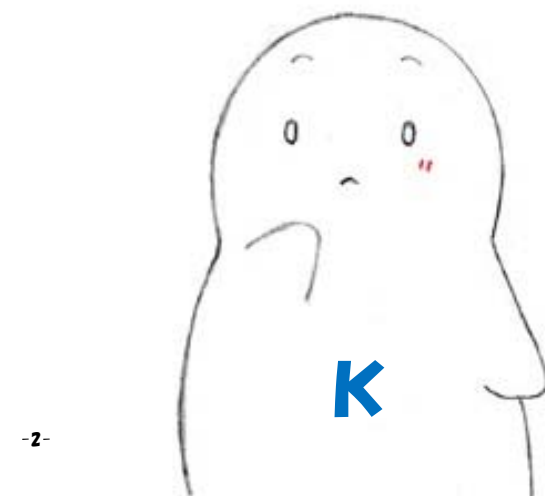
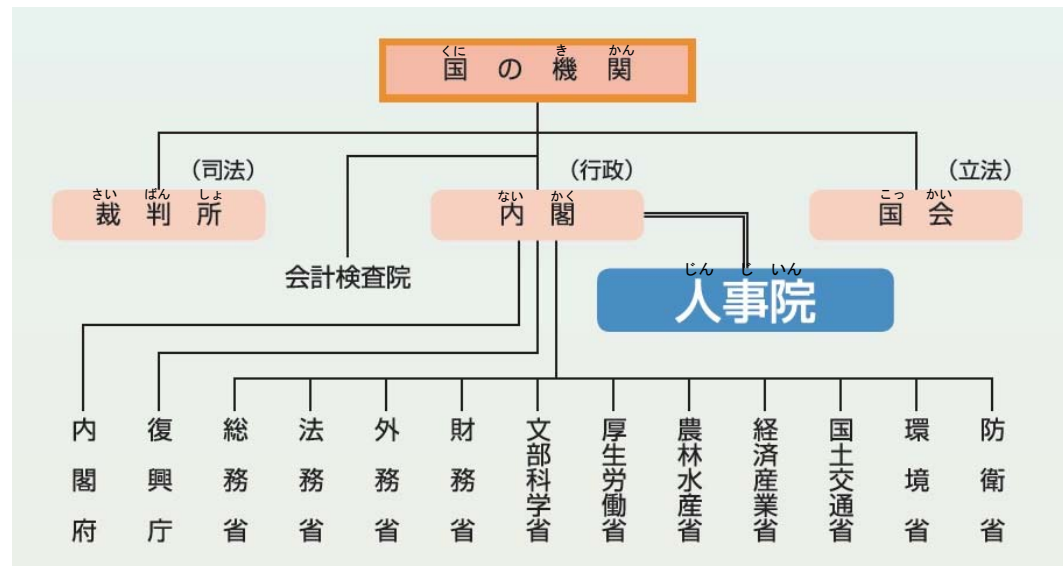
ぼくは「KOHちゃん」。

じんじいん  
人事院のイメージキャラクターをしているんだ！

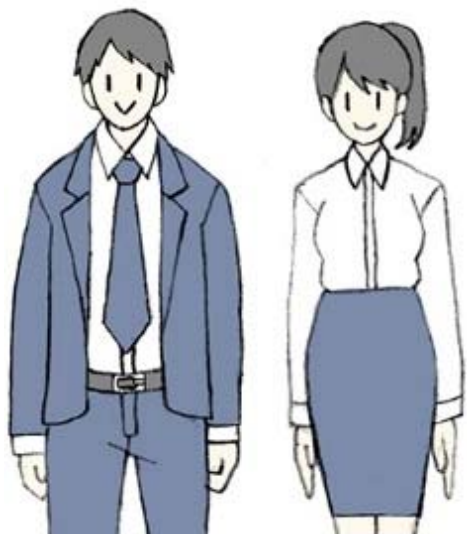
きょう  
今日は、ぼくと一緒に人事院を探検しようね！



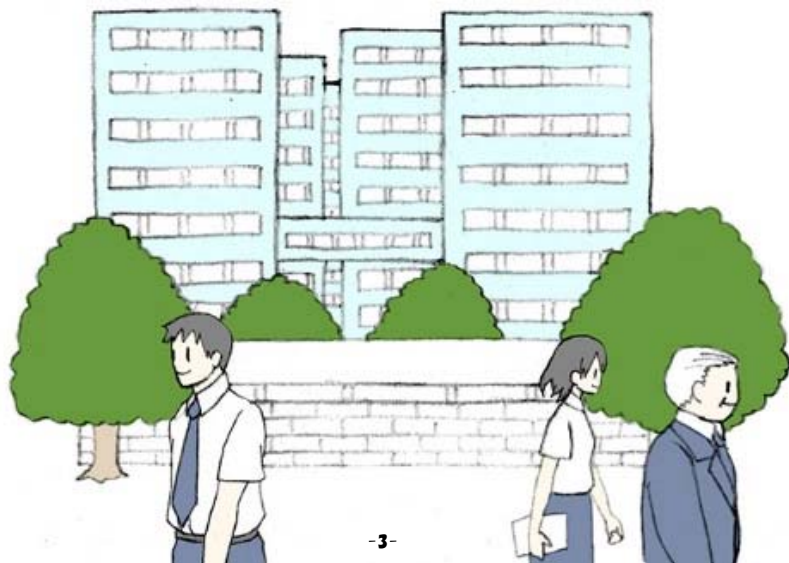
# こっかこうむいん 「国家公務員」ってどんな人？



こっかこうおいに  
 「国家公務員」っていうのは、<sup>にほん</sup>日本のみんなが<sup>あんしん</sup>安心して  
<sup>ゆた</sup>豊かな暮らしができるように、みんなのために<sup>はたら</sup>働いている人の  
 ことなんだ。



たと  
 例えば、<sup>かすみ</sup>ここ霞が関で<sup>せき</sup>働いている人は<sup>はたら</sup>だいたい<sup>ひと</sup>国家公務員の  
<sup>ひと</sup>人たちだね！<sup>こっかこうおいに</sup>国家公務員と一言でいっても、<sup>ひとこと</sup>いろんな仕事をする  
<sup>ひと</sup>人がいるんだ。

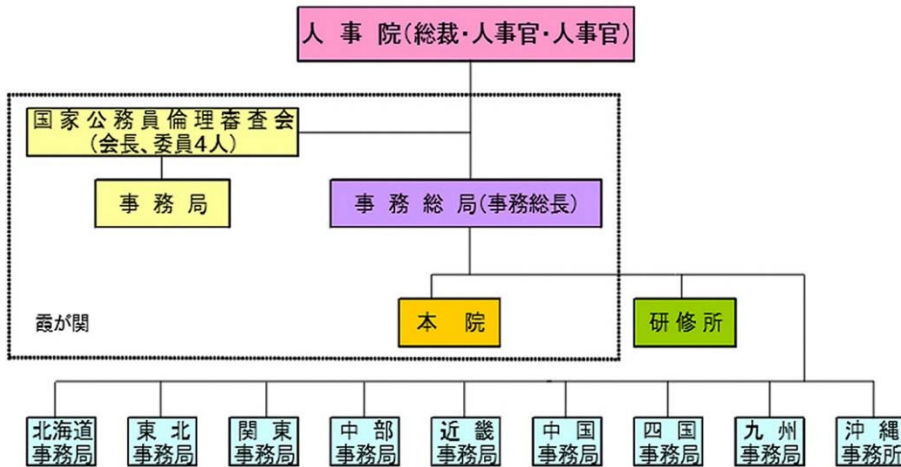


<sup>かすみ</sup>霞が関だけじゃなく、<sup>こっかこうおいに</sup>国家公務員は<sup>にほん</sup>日本のあちこちで<sup>はたら</sup>働いていて、  
<sup>にほん</sup>日本全国で約<sup>58</sup>万人いるんだ。た<sup>ひと</sup>くさんの人たちが<sup>あんぜん</sup>安全を守ったり、  
<sup>かね</sup>お金を<sup>あつ</sup>集めてみんなのために<sup>つか</sup>使ったり、<sup>くに</sup>ほかの国と<sup>はな</sup>話し合いをしたり、  
 も<sup>ゆた</sup>っと豊かな暮らしができるように<sup>かんが</sup>ルールを<sup>かんが</sup>考えたりと、  
 みんなのために<sup>しごと</sup>いろいろな仕事をしているんだよ。

# 「人事院」ってどんなところ？

# 「人事院」って何をしているの？

じんじいん そしき  
人事院の組織



「人事院」は国の役所のひとつ。

約630人の人たちが働いているんだ！

上の図を見てね。

人事院のなかまは、ここ霞が関以外にも、

埼玉県入間市にある公務員研修所、

北海道や沖縄などにある9つの

地方事務局（所）でも働いているんだよ。



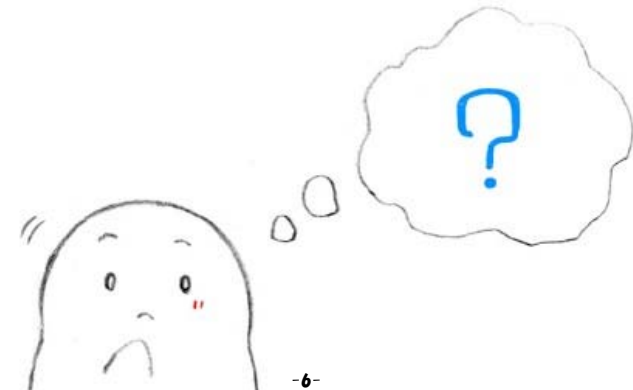
今日はぼくが人事院を案内してあげるよ！！



人事院は、日本のみんなのために働いている国家公務員が、いっしょけんめい力を出せるようにお手伝いをしているところなんだ！

直接みんなと会うチャンスは少ないかもしれないけれど、毎日、国家公務員ひとりひとりのサポートをしているんだよ。

例えば、どんな仕事をしているのかな？



# ① 試験問題を作る

こっかこうむいん  
国家公務員になるためにはまず、  
こっかこうむいんさいようしけん  
「国家公務員採用試験」という  
テストを受けるんだ。

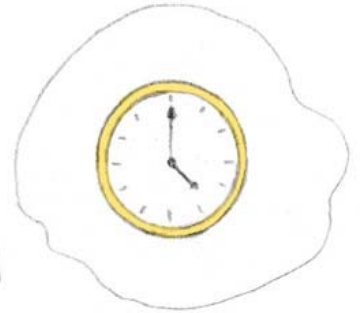
このテストの問題を  
人事院で作っているんだよ。



# ③ 働く時間を決める

こっかこうむいん はたら じかん  
国家公務員の「働く時間」や、  
なつやす やす きかん  
「夏休みなどのお休みできる期間」を  
き じんじいん  
決めているのも人事院なんだ。

こうむいん なか しごと  
公務員の中にもいろいろちがうお仕事  
があるので、その内容によって、どうい  
じかんわり かんが  
う時間割がいいのか 考えたりしているんだよ。



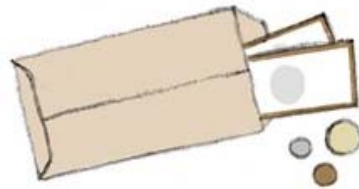
# ④ 苦情相談を受ける

# ② お給料を決める

しごと  
お仕事をしたら、  
きゅうりょう  
お給料がもらえるよね。

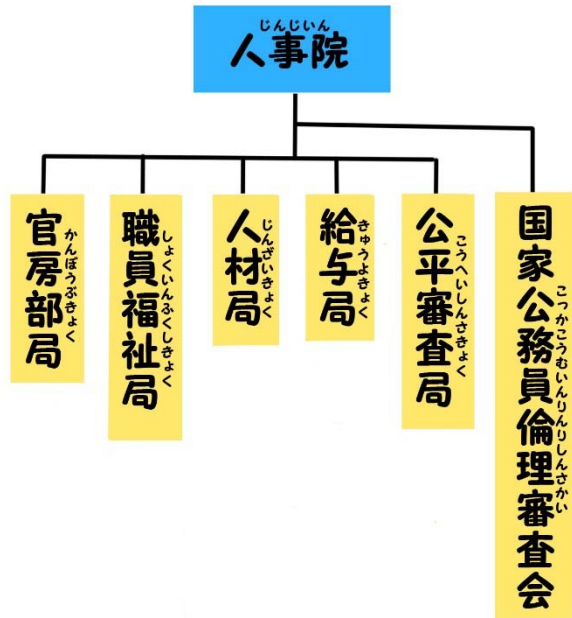
じんじいん こっかこうむいん きゅうりょう  
人事院では、国家公務員のお給料を  
いくらにするか決めているんだ。

そのために、ほかの会社ではどのくらい  
お給料を払っているのか、たくさん  
しら 調べているんだ。

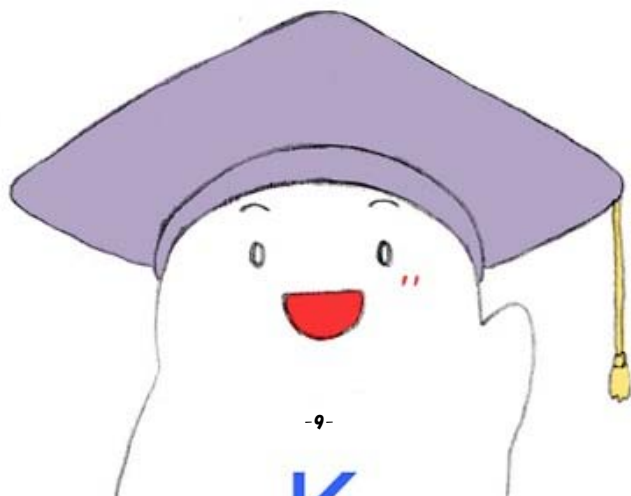


みんなも学校の生活で、困っちゃうことや  
悩んじゃうことってあるよね。  
こっかこうむいん しごと こま  
国家公務員がお仕事のことでも困ったり、  
悩んだりしたときは、じんじいん そうだん  
人事院に相談することができるんだ。

# じんじいん たんけん 人事院を採検しよう！



じんじいん  
人事院には、5つの局と  
こっかこうむいんりんりしんさかい  
国家公務員倫理審査会があるんだよ！



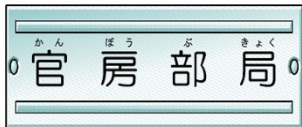
みんな、<sup>じゅんび</sup>準備はいいかな！？  
<sup>いんぎいたんけん</sup>院内採検に出発だ～！

ほくたちも<sup>こ</sup>KOHちゃんと<sup>いっしょ</sup>一緒に  
<sup>たんけん</sup>採検するよ！！



じゅんくん

かなえちゃん



ここは、<sup>じんじいんぜんたい えん した</sup>人事院全体を縁の下で  
<sup>ささ</sup>支えるサポーターの役割をしているんだ。  
 ぼくもこの中の一員なんだよ！

どうむか	かいけいか
総務課	会計課
せかくほうせい	こくさい
企画法制課	国際課
じんじか	さんじかん
人事課	参事官



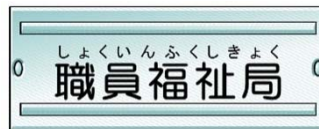
「KOHちゃん、<sup>こくさい</sup>国際課ってあるけれど、<sup>じんじいん</sup>人事院って海外の仕事もしているの？」  
 「<sup>こくさい</sup>国際課はね、<sup>がいこく</sup>外国の<sup>こっかこうおん</sup>国家公務員についてのルールを調べたり、<sup>がいこく</sup>外国の<sup>こっかこうおん</sup>国家公務員の人たちを招いて、<sup>おたがいの</sup>おたがいの国の<sup>こっかこうおん</sup>国家公務員についてのルールを勉強する会を開いたりしているんだ。」

「あ、<sup>こうほうしつ</sup>広報室があったわ！<sup>こ</sup>KOHちゃんはここにいるのよね。」  
 「うん、<sup>じんじいん</sup>そうだよ！ぼく、人事院のイメージキャラクターだもん♪」



「ねえねえ、<sup>こ</sup>KOHちゃん！<sup>せかくほうせい</sup>企画法制課ってなんだかむずかしそうな名前ね。  
 どんな仕事をしているの？」  
 「<sup>じんじいん</sup>人事院は<sup>こっかこうおん</sup>国家公務員についてのいろいろなルール作りをしているんだけど、  
<sup>せかくほうせい</sup>企画法制課は、<sup>あた</sup>新しいルールを作るときに間違いがないかをチェックするんだ！」

「へー！<sup>つ</sup>どんなルールを作っているの？」  
 「それをこれから見に行くんだよ。まずは<sup>こっかこうおん</sup>国家公務員の<sup>はたら</sup>働く時間や<sup>やす</sup>休みのルールを決めている<sup>しよくいんふくしきよく</sup>職員福祉局を探検しに行こう～！」



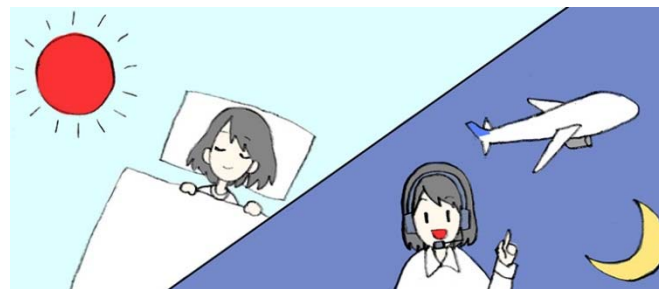
ここは、「<sup>はたら</sup>働く時間」や「<sup>けんこう</sup>健康を守るための<sup>きじゅん</sup>基準」  
 を決めるなど、<sup>こっかこうおん</sup>国家公務員が<sup>はたら</sup>働きやすいように  
 お手伝いしているんだ。

<sup>びょうき</sup>病気、<sup>ケガ</sup>ケガ…

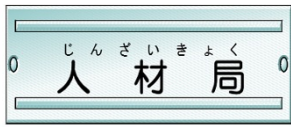


<sup>けっこんしき</sup>結婚式など

「ねえ、<sup>こ</sup>KOHちゃん。ぼくたちは夏休みだけど、<sup>こっかこうおん</sup>公務員になると夏休みはないの…？」  
 「<sup>こっかこうおん</sup>国家公務員にも夏休みはあるよ！<sup>じゅんくん</sup>じゅんくんたちみたいに長いお休みじゃないし、  
 みんながいっせいに<sup>やす</sup>お休みするわけじゃないけどね。  
 ここでは、<sup>やす</sup>夏休みだけじゃなくて、<sup>けっこん</sup>結婚したときや、<sup>びょうき</sup>病気やケガのときにも  
<sup>やす</sup>休めるように<sup>やす</sup>お休みのルールを<sup>つく</sup>作っているんだ。」  
 「へー！<sup>こっかこうおん</sup>国家公務員のお休みも<sup>じんじいん</sup>人事院が<sup>き</sup>決めているんだね！」



「<sup>やす</sup>お休みだけじゃないよ！<sup>がっこう</sup>学校では<sup>じかんわり</sup>時間割が決まっているよね？」  
<sup>こっかこうおん</sup>国家公務員にも仕事の<sup>しごと</sup>時間割があるんだ。でも、<sup>あさ</sup>朝から<sup>ゆうがた</sup>夕方まで<sup>はたら</sup>働けたいところばかりじゃないんだ。例えば、<sup>たど</sup>海の<sup>あんぜん</sup>安全を守る<sup>かいじょうほあんかん</sup>海上保安官や、<sup>ひこうき</sup>飛行機が<sup>あんぜん</sup>安全に飛べるように<sup>くうこう</sup>空港で<sup>み</sup>レーダーを見る人たちは、<sup>み</sup>いつ危険なことがおこるかわからないから  
<sup>あさ</sup>朝も<sup>よる</sup>夜も、<sup>どうよう</sup>土曜も<sup>にちよう</sup>日曜も<sup>しごと</sup>仕事をしているんだ。」  
 「え～！？<sup>うち</sup>じゃあお家に<sup>かえ</sup>帰れないの…？」  
 「もちろんひとりで<sup>はたら</sup>働けるわけじゃないよ！<sup>つ</sup>そこはみんな<sup>こうたい</sup>で<sup>しごと</sup>交替で仕事を  
 するように<sup>じかんわり</sup>時間割を作って、<sup>つ</sup>順番に<sup>じゅんばん</sup>お家に<sup>うち</sup>帰るんだよ。」



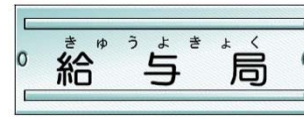
ここは、<sup>こっかこうわいん</sup>国家公務員になるためのテストを作ったり  
いつテストをするかなどの<sup>けいかく</sup>計画を立てているんだ。  
<sup>こっかこうわいん</sup>国家公務員の腕をみがくための<sup>べんきょう</sup>勉強(研修)の仕事も  
<sup>だんとう</sup>担当しているよ。



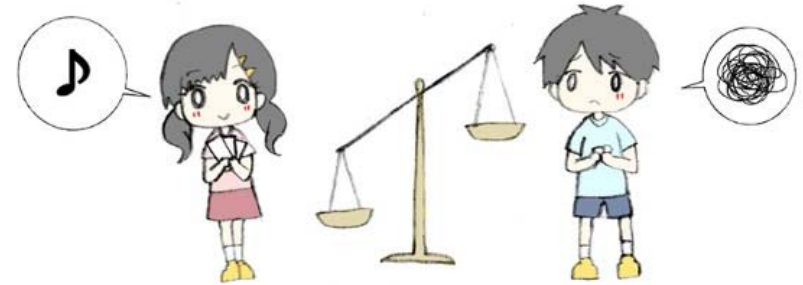
<sup>かすみ</sup>霞が関見学デーでいろいろなところを見学に行き、<sup>こっかこうわいん</sup>ほくも国家公務員に  
なってみんなのために働きたいな〜って思ったんだ！  
でも、<sup>こっかこうわいん</sup>国家公務員になるにはどうしたらいいの？  
「<sup>こっかこうわいん</sup>国家公務員になるにはね、<sup>こっかこうわいんさいようしけん</sup>国家公務員採用試験っていうテストを受けて、  
<sup>ごうかく</sup>合格すればいいんだよ！」  
「え〜っ、テスト！？いやだなあ…。」



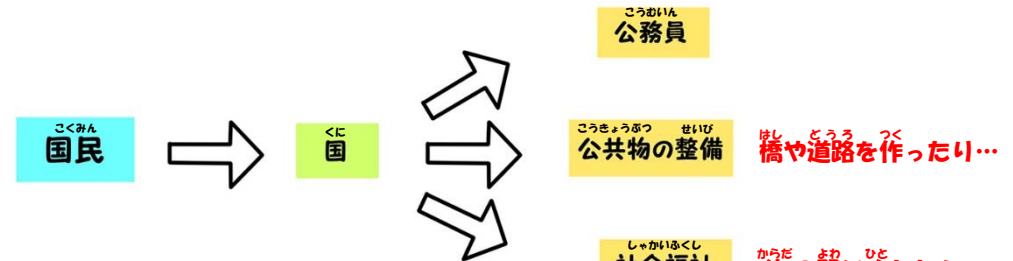
「だいじょうぶ！みんなのために働きたい、っていう気持ちがあれば心配いらないよ！  
実はこのテストをやっているのも<sup>じんじいん</sup>人事院なんだよ。」  
「よーし、がんばらなくちゃ！」  
「<sup>こっかこうわいん</sup>国家公務員になったあとでも、もっといろいろなことを<sup>べんきょう</sup>勉強するために、アメリカや  
フランスに行く人もいるんだよ。  
みんなも今日いろいろなところを見学して、やりたい仕事が見つかったら、  
<sup>こっかこうわいんさいようしけん</sup>ぜひ国家公務員採用試験にチャレンジしてみてね！」



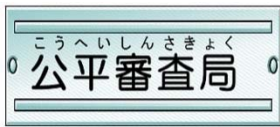
ここは、<sup>こっかこうわいん</sup>国家公務員のお給料についての  
<sup>しごと</sup>仕事を担当しているんだ。



「<sup>きゅうりょう</sup>お給料を決めるのはなかなかむずかしいんだ。例えば、<sup>とも</sup>友だちがじゅんくんより  
たくさんお小遣いをもらっていたとするよ。そうすると、じゅんくんだってもっと  
ほしいのに不公平だ、って気持ちになっちゃうよね。  
<sup>こっかこうわいん</sup>国家公務員のお給料も、不公平にならないように<sup>じんじいん</sup>人事院がいろいろな<sup>かいしゃ</sup>会社に行って、  
に似たようなお仕事をしている人のお給料を調べて、それと同じになるように  
決めてるんだ。むずかしいお仕事だと、お給料も高くなるんだ。」

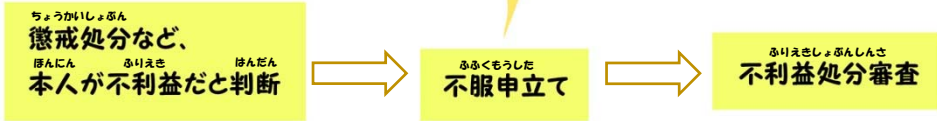


「<sup>こっかこうわいん</sup>国家公務員のお給料ってだれが払っているの？」  
「<sup>かいしゃ</sup>ふつうの会社だと、物を売ったりしてもうけたお金があるよね。だから社長さんが  
その中からお給料をくれるんだ。でも、<sup>こっかこうわいん</sup>国家公務員のお給料は国のみんなから  
<sup>あつ</sup>集めた税金のなかから払われるんだ。  
<sup>ぜいせん</sup>税金はほかにも、みんなで使う橋や道路を作ったり、<sup>からだ</sup>体の弱い人たちを助けたりする  
のにも使われるから、無駄遣いはできないんだ。だから人事院がきちんと調べて、  
みんなが納め得るようなお給料を決めることが大切なんだ。」



ここは、<sup>こっかこうむいん</sup>国家公務員の<sup>なや</sup>悩みごとの  
<sup>そうだん</sup>相談を受けたり、「<sup>ふりえきしょぶんしんさ</sup>不利益処分審査」  
 という<sup>さいばん</sup>裁判みたいなことも<sup>たんとう</sup>担当しているんだ。

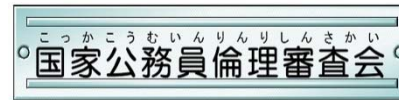
納得いかないよ!



「あれ、<sup>さいばん</sup>なんだか裁判みたいなことをしているわ。」  
 「あれは「<sup>ふりえきしょぶんしんさ</sup>不利益処分審査」ってあって、<sup>たど</sup>例えば、<sup>こっかこうむいん</sup>国家公務員の人か  
<sup>きゅうりょう</sup>お給料を<sup>へ</sup>減らされるっていう<sup>ばつ</sup>罰を受けただけで、<sup>ひと</sup>その人が<sup>ばつ</sup>その罰に<sup>なっとく</sup>納得がいかない  
 ときは<sup>じんじいん</sup>人事院に<sup>ばつ</sup>その罰が<sup>はんだん</sup>おかしくないか<sup>たの</sup>判断してくれるように<sup>たの</sup>頼むんだ。  
 そうすると、<sup>じんじいん</sup>ああやって<sup>ひと</sup>人事院の人の<sup>まえ</sup>前で<sup>さいばん</sup>裁判みたいなことをするんだ。」  
 「<sup>なんだか</sup>むずかしそうね…。」



「<sup>みぢか</sup>身近なものに<sup>たと</sup>例えると、<sup>かぞくかいぎ</sup>家族会議にも<sup>に</sup>似ているんだ。  
 例えば、<sup>かなえ</sup>かなえちゃんが<sup>うち</sup>お家で<sup>わる</sup>悪いことをしてしまって、<sup>かあ</sup>お母さんに<sup>こづか</sup>お小遣いを  
<sup>へ</sup>減らされることになったとするよ。でも<sup>かなえ</sup>かなえちゃんはお小遣いを<sup>へ</sup>減らされるほど  
<sup>わる</sup>悪いことをしたかなあって、<sup>なっとく</sup>納得がいかない。  
 そこで、<sup>とう</sup>お父さんに<sup>こづか</sup>お小遣いを<sup>へ</sup>減らすべきかどうか<sup>はんだん</sup>判断してくれるように<sup>たの</sup>頼んで、  
<sup>かぞくかいぎ</sup>家族会議をして<sup>はな</sup>話し合うんだ。<sup>じんじいん</sup>人事院はこのお父さんの<sup>どう</sup>役割を<sup>やくわり</sup>しているんだよ。」



ここは、<sup>こっかこうむいん</sup>国家公務員が<sup>こくみん</sup>国民に<sup>しんらい</sup>信頼  
 されるため、<sup>こうむいん</sup>公務員の<sup>りんり</sup>倫理を<sup>たも</sup>保つことに  
 ついての<sup>しごと</sup>仕事を<sup>たんとう</sup>担当しているんだ。

「<sup>こうむいんりんり</sup>公務員倫理？それって何？」  
 「<sup>こっかこうむいん</sup>国家公務員が<sup>まも</sup>守らなくては<sup>な</sup>いけない<sup>き</sup>決まりのことだよ。  
<sup>こっかこうむいん</sup>国家公務員は<sup>みんな</sup>みんなのために、<sup>わけ</sup>わけへ<sup>た</sup>たてなく<sup>はたら</sup>働かなくては<sup>な</sup>いけないんだ。  
 でも、<sup>ふしぜんと</sup>フシゼントを<sup>もら</sup>もらったり、<sup>おご</sup>おごってくれたりする<sup>ひと</sup>人を<sup>ひいき</sup>ひいきしているんじゃないか  
 って<sup>うたが</sup>疑われたり、<sup>しんよう</sup>信用されなくなってしまうことがあったんだ。」



「この<sup>まえ</sup>前時代劇で、  
<sup>わる</sup>悪い商人：<sup>わ</sup>わたしが<sup>う</sup>売っている<sup>お</sup>お酒だけが<sup>う</sup>売れて、<sup>ほか</sup>ほかの<sup>しやうにん</sup>商人のお酒は<sup>う</sup>売れないように  
 してくれたら、<sup>かさね</sup>こっそり<sup>かね</sup>お金を<sup>さしあげ</sup>さしあげます。  
<sup>あくだいかん</sup>悪代官：<sup>しょう</sup>しょうがないなあ、<sup>じゃあ</sup>じゃあ<sup>そう</sup>そういう<sup>お</sup>おふれを<sup>だ</sup>出して<sup>や</sup>やろう。このことは  
<sup>みんな</sup>みんなには<sup>ないしょ</sup>内緒だぞ。  
<sup>ふたり</sup>二人：<sup>ひっひっひっ</sup>ひっひっひっ。  
 というのを見<sup>み</sup>見たよ。こ<sup>み</sup>こういうのが<sup>ダメ</sup>ダメなんだね。」  
 「<sup>そう</sup>そう、<sup>だから</sup>だから<sup>じんじいん</sup>人事院では<sup>そう</sup>そういうことが<sup>ない</sup>ないように、<sup>み</sup>見張りをして<sup>いる</sup>いるんだよ。」

今日は来てくれてどうもありがとう！  
 また会えるのを<sup>たの</sup>楽しみにしているよ。  
 じゃあね、<sup>バイバイ</sup>バイバイ！

